

## 平成28年度全国学力学習状況調査修善寺小学校結果

### 1 テストの概要

- (1) 国語A 基礎的・基本的な知識技能が身についているかどうかをみる問題  
例) ・文の中の主語及び主語と述語との照応関係を捉える。  
・提案の内容に対する聞き方の様子から、聞き方の工夫として適切なものを選択する。
- (2) 国語B 基礎的・基本的な知識技能を活用することができるかどうかをみる問題  
例) ・目的や意図に応じ、新聞の割り付けをしたり、見出しや記事を書いたりする。  
・物語の登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉えるとともに、登場人物の気持ちの変化について想像しながら音読する。
- (3) 算数A 基礎的・基本的な知識技能が身についているかどうかをみる問題  
例) ・計算の結果のおよその大きさとしてふさわしい数値を選ぶ。  
・180度よりも大きい角の大きさを求める。
- (4) 算数B 基礎的・基本的な知識技能を活用することができるかどうかをみる問題  
例) ・日常の事象の解決に図形を見だし、その性質を記述する。  
・基準量、比較量、割合の関係を基に、示された求め方の誤りを指摘し、正しい求め方を記述する。

### 2 テスト結果 ○特に良かった内容 ●努力を必要とする内容 □今後の対応

- (1) 国語A 全国 72.9% 静岡県 76.5%  
○漢字の読みがよくできていました。  
○書写に関する問題がよくできていました。  
●インタビューをした取材メモから、書く事柄を整理する問題ができていませんでした。  
●平仮名をローマ字で書くことやローマ字を平仮名に直すことがあまりできませんでした。
- (2) 国語B 全国 57.8% 静岡県 58.9%  
○話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問するという趣旨の問題がよくできていました。  
○グラフを基に、分かったことを的確に書くという趣旨の問題がよくできていました。  
●目的に応じて質問したいことを整理するような問題があまりできていませんでした。

漢字の読み書きは、何度も繰り返して練習しています。「読む」よりも「書く」方に力を入れます。ローマ字の表記は、4年生の時に学習して、忘れてしまっていることもありますので、時々思い出すように復習をしています。国語AB共にインタビューから書くことを整理するような問題ができていませんでした。人に話を聞き、多くの人に分かりやすく発信するために、どんな工夫があるかを学習する必要があります。

(3) 算数A 全国 77.6 % 静岡県 78.5 %

- 小数を含めた数の大小関係は理解できています。
- わり算の答えの確かめ方法がよく分かっています。
- 小数のたし算の正しい答えを計算できます。
- 三角形の底辺に対する高さの場所を間違えている子がいます。
- 1を超える割合を百分率で表す場面において、元にする量と比べられる量を取り違えている子がいます。

(4) 算数B 全国 47.2 % 静岡県 47.4 %

- 示された式に数値を当てはめて、ハードルの目標タイムを計算することができていませんでした。
- 単位量当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定する問題ができていませんでした。
- グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に示された事柄が正しくない理由を記述できませんでした。
- 示されたわり算の式を並べてできた形と関連づけ、書くの大きさを基に式の意味の説明を記述する問題ができていませんでした。

基礎基本の定着につながる地道なドリル学習を続けてきた成果が算数Aで出ていたと思います。できなかった問題の傾向として、記述する問題や学習内容が混在している問題、問題文が長い問題等が挙げられます。いずれも生活の中から出題されているような問題であるので、普段の生活の中からの問題を解いていく活動を取り入れていきます。また、何段階もステップをクリアしていくと正しい答えが導き出されるというような問題も積極的に取り組んでいきますが、個人差が大きいため、個に応じた指導が必要であると考えています。

(5) 学習状況調査より

1 自分自身に関すること

- 学校のきまりを守っていますか。
- 将来の夢や目標をもっていますか。
- 友だち同士で話し合っって学級のきまりを決めていますか。
- 話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか。
- ものごとを最後までやり遂げて、嬉しかったことがありますか。
- 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。
- 自分によいところがあると思いますか。

決められたルールはしっかり守ることができています。また、夢や目標をもって生活することは日々の活力となります。

話し合い活動は、友だちの意見を認め合う大切な活動です。折り合いをつけて意見をまとめることで、相手を思いやる心が育ちます。

昨年度も同じような傾向でしたが、難しいと思えることでもチャレンジしてみるということが弱点になっています。失敗を恐れず挑戦した先に満足感や達成感があり、そのような経験が自己肯定感につながります。

## 2 家庭や地域での生活

- 家で学校の授業の宿題・予習・復習をしていますか。
- 家での自学自習において、教科書をつかいつながりながら学習していますか。
- 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- 家の手伝いをしていますか。
- 地域社会などで、ボランティア活動に参加したことがありますか。
- 学校が休みの日、1日当たりどれくらい勉強しますか。

学校の授業の予習・復習をよくしていることが分かりました。休みの日は習い事等で忙しいこともあり、学習する時間は少なくなっています。地域の行事によく参加はしていますが、ボランティア活動にまでは至っていないようです。

## 3 学習状況

- 友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。
- 友だちの話や意見を最後まで聞けますか。
- 自分の考えの理由がわかるように気をつけて書いていますか。
- 算数の勉強は好きですか。
- 算数の授業の内容はよく分かりますか。
- 算数で学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つと思いますか。
- 国語の勉強は好きですか。
- 国語で学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つと思いますか。
- 国語の授業の内容はよく分かりますか。

友だちの前で自分の考えや意見を発表することが得意だという児童が増えました。授業でそのような機会をたくさん与えています。みんながしっかりと聞いてくれているということも、良い傾向となっています。国語の授業でも問題解決学習を積極的に取り入れ、子ども主体の授業になりよう心がけていきたいと思います。また、最も基本的な「学習する意味」もキャリア教育と合わせて教えていきたいと思います。